

請 願 番 号	請 願 第 9 号	件 名	下水道料金引き上げの中止を求める請願
受理年月日	令 和 3 年 1 1 月 1 8 日	請願代表者 住所・氏名	各務原市尾崎北町3丁目54 各務原市社会保障推進協議会 会長 河合 良房
付託委員会	建 設 水 道 常 任 委 員 会	紹 介 議 員	古川明美、杉山元則、永治明子、波多野 こうめ
<p>(請願趣旨)</p> <p>コロナ禍が襲っておよそ1年8カ月が経とうとしています。この間5回に渡ってコロナ禍の波が押し寄せ、そのたびに市民は自粛や人的交流の制限を余儀なくされました。そして、このコロナ禍によってかつてない不況が全国的に押し寄せています。人が集まり、移動することで成り立つ飲食、小売業ばかりではなく製造業までもその影響が及んでいます。当然、そこに働く人たちの減収がありその苦しみは想像以上のものがあります。全国的に見てもコロナ倒産が2300件を超え(帝国データバンク、2021年10月現在)、また、コロナ解雇が12万人に上ると厚労省が発表しています(2021年11月9日時点)。そして、今冬にはコロナ禍第6波は避けられないと専門家も警告しています。もし、これが現実になれば更なる不況の波が市民に容赦なく押し寄せてきます。その上に進みつつある原油の値上げや物価上昇によって市民の財布は細るばかりです。</p> <p>こうした状況下において令和4年4月からの下水道料金15%引き上げの通知が市から市民に届けられました。これは2018年9月議会で決められたものということでしょうがコロナ禍で社会状況が一変している下でのこの通知は市民の困難にとっても配慮の欠いたものと言わざるを得ません。更に指摘しなければならないのは、市民に負担を求めながら、不要不急の体育館建設に70億円、市民公園リニューアル事業に13億円もかける市の税金の使い方があります。今、市に求められているのは、コロナ禍第6波に備えることや市民の置かれた困難状況に寄り添う施策ではないでしょうか。</p> <p>以上の理由をもって、来春の下水道料金引き上げの中止を求めるものであります。</p> <p>(請願事項)</p> <p>1. 令和4年4月からの下水道料金引き上げを中止してください。</p>			